

会議名	第4回新城地域協議会		公開
日時	令和3年6月26日(土) 午後1時00分～午後4時40分	場所	勤労青少年ホーム 2階 軽運動場
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、矢賀美紀代、坂巻克彦、清水利高、今泉澄夫、 佐本達俊、太田芳伸、高木猛至、酒向雅子、本田廣美、松井利文、 今泉訓行、後藤幸子、鈴木雅晴、浅岡勝、石黒謙治、夏目工、 伊藤誠、大橋さよ子		
	(事務局) 自治振興課：加藤課長、早川副課長、岡本主任 新城自治振興事務所：笹田所長、大岩主任		
欠席者	浅田昌弘、今泉栄	傍聴者	なし
配布資料	次第、地域活動交付金申請書の写し、令和3年度新城地域協議会 開催日程表(変更)、令和3年度新城地域自治区地域活動交付金募 集要項		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会、2 会長あいさつ 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名 (太田芳伸委員、高木猛至委員、酒向雅子委員)</p> <p>3 説明 事務局より審査の流れについて説明した。</p> <p>4 公開審査 申請のあった5件の審査を行った。うち4件は以下のとおり審査を行った。</p> <p>(1) 団体からの事業説明 5分 (2) 委員からの質疑応答 7分 (3) 採点票への記入及び説明者の交代 3分</p> <p>申請額10万円以下の説明省略申請1件は以下のとおり行った。</p> <p>(1) 委員からの質疑応答 7分 (2) 採点票への記入 3分</p> <p>①三猿石像建立事業(三猿石像建立発起人会) (委員) その他収入で139万円となっているが、事前の質問では一戸当たり協力金一口1,000円であり、もし一戸当たりで集めてくると1,397人必要になる訳であるが、この辺の目処というのは、例えば法人関係がどのくらいあるのか、収支計画上の問題で大丈夫なのか。 (申請者) 橋向では150軒ほどあり、そちらの方で協力をお願いしようと考えていた。当初、一口いくらかという話の中で、一口1,000円ということで、組長から募集をお願いしようということ考えて。予算的に最初に提示した</p>
--

三猿石像建立費用と一口 1,000 円の募集金額で辻褄が合うのか、予算が達成できるのか、心配が非常にあったが、発起人 8 人は何が何でも作ろうという形であった。8 人で何とかしようということの中に、町内の人達に色々協力をお願いするとか、あるいは地域活動交付金にエントリーすれば MAX50 万円を提供していただけるというような形で、最初は発起人 8 人で割ればよいのではないかという話であったが、地域の皆様の石像であるため、地域の人達にも少しでも協力していただき、橋向全員で作り上げようという気持ちになり、皆さんに協力していただき、最終的には発起人が形付けるつもりであるが、とりあえずそのような形でやりたいと思っている。180 万円と言っているが、これは最初の予定、見積もりであり、皆さん方にこれで検討していただいた 50 万円を入れていただければ、129 万円という形になろうかと思う。

(申請者) 先ほどの訂正で、現在橋向区 11 組あるが、7 組分 7 月いっぱいとなっております、その 7 組で 129 万円という数字が出ているため、何とかなるかなと思う。今の話は絶対的に集まる数字ではないが、足りない部分は発起人が 8 人いるため、何とかなるであろうという読みである。

②城北こども園地域の資源を活用した子育てプログラム (城北こども園保護者会)

(委員) こども園と保護者会の協力体制について、例えばダンス講座等は園の先生達も参加はされるか。

(申請者) こちらの事業の実施にあたっては、すべてこども園の協力を得て行い、実施をする前に園長先生等と打合せをしてやっていく。例えばダンス講座に関しても、担任の先生にちょっと入ってもらったり等、保護者会と園側と一緒に協力しながらやっていくものがすべてである。

③栄町区民相互交流事業 (栄町公民館運営委員会 区民相互交流事業部会)

(委員) どのくらいの方の参加、割合や人数を期待されていて、実際にはどのくらいそれぞれの活動に参加されているのか、その期待と実際の状況について、今掴んでいることがあったら教えていただきたい。

(申請者) 7 年目になるため、だいたい想定できている。全員の参加は費用や場所の問題もあるため、不可能である。できるだけ多くということで、人員を決めて応募をかけてやっているが、ほとんどが高齢者の参加になる。それに付いてくる子どもが数人、せいぜい 10 人ぐらい。その程度しか子どもの参加が得られない。子ども会の事業も少し出ると思うが、区全体でやる事業としては親に付いてくる子ども達というぐらいで、せいぜい 10 人からプラスアルファぐらいである。ほとんどが高齢者になる。青年も手伝い等はやってくれるが、やはりなかなか出てこない。70 歳まで定年延長になり、これが大弊害である。結局、勤めているため出られないという方が非常に多い。70 歳以上の人以外ではなかなか参加できないという状況である。70 歳以上でも働いている人がいるため、なかなかちょっと難しいと思いつながら、できるだけ無理をせずに参加を募っているという状況である。

④新桜通り緑化推進事業 (新町地区まちづくり協議会)

(委員) 後継者の課題は、企業も色々な地域活動も一番、頭痛いところである。若い人は今それどころの騒ぎではないので、なかなかできないと思う。もう一世代飛んでお孫さんを連れてきてもらって昔の思い出として残しておく、いずれそういう方がやっていかれる人材になると思われる。足を運んでもらうのは大変だと思うが、このパークについては危ないところではな

いため、例えばおじいさんが孫を連れて来てもらって一緒にやるというような形も一つの方法かと思われるが、できるできないは別として、そのような形で家族ぐるみでこのようなイベントをやっていたというようなことがあれば参考にしたいため、教えていただきたい。

(申請者) 春には桜祭りで大道芸等の色々な各種イベント、吟遊の方等を色々呼んでフェスティバルをやった。ガーデニング講習で公民館に30名ほど集めて毎年農協のガーデニング講師を呼んでやった。今、指摘があったように、後継者の問題は度々募集をかけたり、勧誘をしているが、純然たるボランティアのため、なかなか今若い人がやってくれない。今、昔のメンバーでやっているが、だいたい23名ほどいて、その平均年齢がだいたい70歳ぐらいである。皆さん年寄りになられて、行動するのも大変なことになっている訳である。一生懸命、勧誘はしているがなかなかうまくいかないのが現状である。そういった今、指摘のあったことを踏まえながら、今後色々皆さんと協議しながら考えて継続していきたいと思っている。

⑤夏祭りを通じての多世代交流事業（まちづくり向上委員会）

(委員) 盆踊りは一つのきっかけだということで、今後のまちづくり、活性化につながるための一つの手段として実施されると思うが、申請団体の構成員を見ると結構若い方が入っている。若い人達の中から、そういう声が沸き上がっているのか。

(申請者) 今回この状況でやろうと思ったのも、そういった若い人達から何かできないかという声が上がった。今まで色々な団体でまちづくりをやってきた。そういった中で自分も後押しされるような形でこの機会に1回、これがどうだろうと、とりあえずまずやってみようかということでやってきた。そういったまちづくりに関心のある若い人達も出始めていると思う。

(委員) 計画の中で子どものワークショップがあるが、どのくらいの対象年齢の子どもを考えたのか、今現在どのくらいの子どもが何人くらい集まりそうなのかを教えてください。

(申請者) 本来であれば学校や子ども会に声をかけたいところだったが、コロナの状況でなかなか賛同してくれるのが難しくなっているため、まずメンバーの子ども達、その子どもの友達を集めてやっていこうとは思っているが、どういう風に子ども達の意識を高めていくのか、どうやれば当日一緒に参加してもらえるのかという部分を今検討中である。今考えているのは3回にわたって行おうと思っている。第1回目は盆踊りというものから入って、他の団体のことも含めてまちづくりの説明をして、2回目・3回目からは皆が思っている思い、このまちに対する思いを吸い上げて、参加というところまで持っていきたいと思っている。内容に関して、例えばどんな盆踊りにしたいのかということ始めてしまうと、これ以外のものができ上がってしまう恐れがあるので、そういった部分でない部分での意識の向上を考えてやろうと思っている。

(委員) 盆踊りが昔ながらの盆踊りと盆ダンスと2種類やるようであるが、盆踊りについては櫓を組んでやるのか。踊りについては、櫓を中心にして輪を作って踊るといったことか。

(申請者) 櫓のような大きいものではないが、人が多くなるためセンターが分かるようなもの、危なくないものを組んでいく。その上に昔ながらの太鼓を入れるようなことはせずに、盆踊りの踊りの先生を呼んでいるため、そこでやってもらうという形になる。

(委員) 踊りの先生は何名いるか。

(申請者) 踊りの先生が2人と、弟子を5人連れてきてくれるという話で伺っている。時間の方もマスクをしているため、盆ダンスの方もそうであるが、マスクをしても息苦しくないような短いものを何回か休憩を入れながらやるという形にしようと思っている。

(委員) 曲目については何か。踊りについての練習はやるのか。

(申請者) 本来練習をやっていくものが盆踊りだと思われるが、今のコロナの中で何回も集まるといことがなかなか難しいため、盆踊りの先生と当日に来て教えてできるものかという相談をしたところ、そういうものを用意できるということであったため、それをやる。昔ながらの盆踊りの曲になると思う。

5 審議（非公開）

・地域活動交付金最終審議

事務局で集計した審査の結果を説明し、地域協議会としての最終的な審議を団体ごとに順番に行った。採点しなかった委員は協議から外れて審査を行った。

(審議の流れ)

①事業の採択及び不採択についての採決

②採択について付すべき地域協議会としての意見・条件について協議した。

申請事業5事業全てが採択基準の30点以上であったため、採択となった。

事業内容について条件付けはなく、協議会からの応援メッセージ等について、申請団体へ伝えることとなった。

6 議事

(1) 地域活動交付金事業二次募集について

地域活動交付金募集要項により、地域活動交付金の予算に残額がある場合、二次募集をすることができるとされているため、地域活動交付金を二次募集するかどうか協議され、委員の挙手多数により二次募集を行うことに決定された。

主な意見

(委員) かなりの金額が残っていることや市長が代わるようであり、この事業自体の継続性がこの先分からないため、追加募集をやった方がよいと思う。

(委員) 常に予算が余ったのであれば、追加募集すべきということが持論である。やはり、中部の人にはこれだけ予算が余りましたということは公表すべきである。この時期におそらくないだろうとは思いますが、コロナの緊急事態宣言が解除された状態であるため、出してみようと思っている人がいるかもしれない。

(委員) 市自体の選挙を含めて予定もあることや事務局を担当している方達もコロナの接種会場へ導員されているような状態で結構忙しい毎日を送っているのではないかと思う。無理をして二次募集までかける必要はないと思う。おそらくチラシを見て考えて、一次募集の締め切りに間に合うように皆さん取り組んで今回の募集になったと思う。もし予算が余った時には二次募集をかける。かけるのであればこういう時期にやるというのを来年度からやってもらえればよいと思う。

(委員) 今回初めてであるが、予算が余ったらやればよいという感じであり、やって申請が来たら人件費もかかるし、自分達も時間を空けて来ている訳であるため、その点は分かるが、任命された以上、予算がまだ余っており、もしそれでやりたいという人がいるのであれば、窓口は広げておく方がよい

と思う。例年どういう感じか分からないが、今回初めて参加して、色んな諸事情があってやめた方がよいという意見もあると思うが、予算が余っているのであれば、やる価値はあると思う。

(委員) 申請がないだろうからやらないではなく、追加募集という決まりがある。一度も追加募集の決まりをやったことがないため、この決まりは必要ないと思う。日程的に無理だからやめようと毎年言っている。追加募集をかけるのは大変だが、追加募集がずっと無理であれば決まりを止めて1回だけとすべきである。追加募集という制度があるのに今年はこんなに予算が余っているのに全くやろうという意見が出ないのが不思議ではない。

(委員) 最初の頃は追加募集があったような記憶がある。その時はプレゼンをしないで審査だけして、決定したという話を聞いたような気がする。それは別にして、基本的にこの制度は、住民の色々な提案を元にして色々なアイデアを出してもらって、それを事業としてやっていこうという市の意図がある訳である。予算があるのであれば、申請が出てくるのかどうかは分からないが、例えば今回このような事業が採択になったということを含めてもう1回やれば、こんなこともできるのかという風なことになるという気がする。基本的に委員の方は1回行ったので慣れているため、逆に事務局の方が大変だが、できればやった方がよいと思われる。

(委員) 去年、城北こども園のプレゼンする担当だった。しかし、コロナもあって結局諦めた。日程的にも通るかまだ分からないのに事業進めるのかということもあった。結局、移動動物園は自分達で料金を切り詰めて行ったってということがあり、もし期間が間に合えば何かできただろうし、何か子ども達にもいろんなイベントをさせてあげたかったなというのがあった。そういう園がもし他にも新城地区であれば、使ってもらいたいなと思うし、個人的な意見だが、さっきから話を聞いていると中止の方向に話が行っているような気がする。日程的とか委員の都合を考えるのか、やりたい人の気持ちをどういうふうに考えるのかというところで、去年はできればやりたかったという感じだった。もしそういう団体が出るか出ないか分からないが、それは私達にも分からないので、できる可能性があるところを閉めてしまうっていうのはいかなものかなということ最後に言いたくてちょっと個人の体験、去年の体験として、お伝えさせていただく。

(2) 令和3年度新城地域自治区地域活動交付金募集要項について

(1) で地域活動交付金事業二次募集を行うことが決定されたため、二次募集に係る地域活動交付金募集要項を臨時で協議し、募集期間を令和3年8月2日から令和3年8月23日とし、その他は現在の地域活動交付金募集要項から変更なしと決定された。また、二次募集に係る地域活動交付金事業募集チラシには、交付決定前着手が可能な旨の文言を追加することに決定した。また、二次募集に係る地域活動交付金審査会及び地域活動交付金分科会の日程は会長、副会長及び事務局で打合せを行い、委員に通知することに決定した。

7 閉会